



第 1644 回例会

平成 23 年 1 月 24 日 (月)

12:30~ 海南商工会議所 4F
会員卓話 I DM 発表

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. ビジター紹介

高野山 RC 亀岡 弘昭 様

4. 出席報告

会員総数 65 名 出席者数 43 名
出席率 66.15% 前回修正出席率 78.46%

5. 会長スピーチ

みなさん今日は。高野山 RC の亀岡さん、ようこそおいで下さいました。

昨日は今年度はじめて 2640 地区で採用されました RLI (ロータリーリーダーシップ研究会) へ、中西君にお願いし、当クラブの代表として参加してもらいました。2 月には P A R T II そして 3 月には III と控えております。

クラブの運営の指針から会員増強、奉仕プロジェクト財団、米山、広報と幅広く RC を勉強するものです。

今後もいろいろありますけれど、本来の RC の勉強ですので続いていくと思います。

次回は又どなたかに参加願いたいと思います。RC における人生観も大きく変わるとと思いますので、参加を希望する方が沢山おられる事を願います。

あと少し、地区の現状、前回よりの動きを少しだけお話して結びます。

会長 谷脇 良樹君



1月は
ロータリー理解推進月間

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：谷脇 良樹 幹事：上野山 雅也 S A A : 三木 正博

<http://www.kainaneast-rc.jp> E-mail : info@kainaneast-rc.jp

6. 幹事報告

幹事 上野山 雅也君

○メー キャップ

海南 RC 林 孝次郎君 1/19

○例会臨時変更のお知らせ

岩出 RC

2 月 10 日 (木) → 2 月 12 日 (土) 14:00~15:10

岩出市総合体育館小ホール
きさらぎコンサート

○2 月のロータリーレート

1 \$ = 84 円

7. I DM 報告

☆1組☆

楠部 賢計君

1. 会員増強について

- (イ) 現状維持 減ったら補充
- (ロ) 退会防止に気配りの方が大事

- (ハ) 無理な増強せず、理解して頂いて入会依頼

- (二) 増強も大事、しかし出席率定価の防止も重要

- (ホ) 増強より会員同士の気配りで退会を防止

2. 楽しい I DM について

- (イ) 今回の年齢分け組み分けは良い

- (ロ) 回数を増やしてほしい、ストレス解消になる
- (ハ) 1 人暮らしは寂しい、友人と飲めるのは良い薬になる

- (二) ロータリーの会合を楽しくすれば会員増強にもなる

- (ホ) 趣味の集まりを多くして、RC で予算を組む

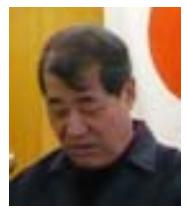
- (ヘ) 昼の食事をもっと工夫して、おいしく楽しくしてほしい (日替わりランチの例)

- (ト) 自分から楽しく PR 活動に積極的に参加する以上、第 1 組からの提言です。

☆2組☆

岩井 克次君

この様な形式の I DM を全員希望しておりました。中身は非常に有意義な話ばかりでした。話に夢中になり、時間が経つのも忘れるくらいでした。このような I DM をもっと実施することでロータリーが活性化すると思います。2 次会も楽しみました。



☆3組☆

奥様が4名出席してくれました。楽しいロータリークラブにするには、小グループの親睦会をもっとたくさん開いては！と奥様方の意見として出してくれました。幸いなことに我がクラブでは多くの同好会や親睦会があり、そのとおりであります。会員の増強は年配の人が年齢を理由にやめていくこともありますので、ロータリーの中で老人会を作つてみでは？また、海南でもぼちぼち団塊の世代の人達が定年になり戻つてきているので、この人達を誘つてみることを考えてはどうかと思う。皆さん、やめないで下さい。



林 孝次郎君

☆4組☆

1. 会員増強 山名さんより提案
がありました

大十路線バス社長
ドライビングスクール
溝端医院 院長
(幹事の方へ報告します)



2. 少し早いクリスマスパーティ

楽しい IDM でした。にぎやかに過ごしました。
以上です。ありがとうございました。

☆5組☆

本来の発表は花畠さんでしたが、所用の為欠席と言うことで私に発表が回ってきました。去年のことなので、あまり覚えていませんが、ボツボツ思い出しながら発表します。最初に夫婦同伴ということでしたが、この組は金川ご夫妻だけということで、奥様が驚かれていました。日頃の行いが悪いのでしょうか？メインテーマの「会員増強」はさてとして、「楽しい IDM」中心に語らいたぐりで記憶しています。間違っていたらごめんなさいですが、年令の話から人は各々 30 才くらいの差があり、良い薬もたくさんあるので夜の現役時代が永くなりつつあるという話しで一同盛り上がった様な気がします。これが楽しい IDM の一部始終がありました。



最後の方に、「会員増強」については、最近若い世代の方がたくさん入会して頂いたので、特に若い世代の方にご尽力して頂いて、若い世代の入会に積極的に取り組んでいこうということでした。

☆6組☆

①楽しい IDM ・・・ 趣味の会、
お酒の会は会員お付き合いの円
滑油みたいなものとのお話。

三木 正博君



②会員増強

今回会員 69 名の処、3 人抜けること。増強についての話は常に目ぼしい人に声をかけて、当クラブはこんな風な楽しい会であることを宣

伝し続ける。又、今一度ビジターになってもらつて会を見てもらうことも大事では？

これは私の考えです。趣味の会を大いに生かして会員同士のお付き合いを円滑にして当会員を出来るだけ減らさないように維持していく努力も大いに大事とのこと。又、新しい会員を確保する為には、常に目ぼしい人を見つけて声かけ運動をする事も必要では？

今一度会員に選ばれる条件は以前頂いたロータリーへようこそその中の

- ・地域で職業を代表して評判の良い人
- ・必ず例会に出席出来る性格と健康の持ち主で自分の時間の裁量ができ、出席条件の整った人
- ・人格の立派な人で社交性のある人
- ・地域で指導者たり得る意欲的な職業人で将来性のある人

・地域社会で奉仕活動をしている人。

この様な条件に全てあてはまる人はまずないと思いますが、上記の分に出来るだけ近い人をえらんで増強していきたい気持ちで皆様と共に努力していきたいと私なりに思いました。

☆7組☆

中村 俊之君

12月に入り、忘年会シーズンに突入しようかと言う時期に開催したためか、約半数の出席で、奥様も千賀さん一人という寂しい結果となりました。



まず、会員増強について話を進めていきましたが、まだ入会年数が浅いメンバーが中心だったために、具体的な増強方法までは話が進みませんでした。

そこで少し観点をかえて今から入会しようとする方の立場となり、入会する前のロータリーのイメージを聞いてみました。

- ・ロータリーは敷居が高い
- ・年配の人の会
- ・若いうちに入会すると、馬車馬のようにこきつかわれるのでは？
- ・50 歳位に入会したほうが有意義にすごせるのは！

等の意見がありました。

ただ皆さんの入会後の感想は全く違ったようですが、全くロータリーと関係ない人は入会するまえの私たちのようなイメージを抱いている人が大半だと思います。どのようにして、現状のロータリーを理解してもらうためにいかにわかりやすく説明するかが、会員増強のカギとなってくるのではないでしょか。

また、現状 40~50 代の人を誘うにあたって

- ・仕事が忙しくて中々昼間は出にくいのでは
- ・今のご時世、年会費がネックになってなかなか声をかけづらい。
- ・自分自身まだ年会費に見合うだけの魅力を感じていない中、人をさそいにくい

等の意見もありました。

私のように、父親が元メンバーで何年もお誘いをいただいていた人間と違い、今までロータリーとはなんの関係も無い人は、やはり二の足をふむのが現状ではないかなと思います。

でも、今後のロータリー活動を考えると、やはり私たちの年代（40～50代）の人を増やしていくかないと維持していくのは難しいと思われる所以、今後会員増強の意識を今以上に強く持っていくかなくてはいけない。という結論になりました。

続いて「楽しいIDMを・・・」についてですが、美登利さんを出た後も人数が減ることなく、クロスさんで二次会。もう一度場所をかえ日付がかわるまで大いに盛り上りました。

「楽しいIDMを」の趣旨にあつてはいるのかどうか
わかりませんが、和氣あいあいと楽しくIDMを開催
することができました。

8. 閉会点鐘

次回例会
第 1645 回例会 平成 23 年 1 月 31 日(月)
海南商工会議所 4F 12:30~



ニコニコ・BOX

○一般三ヨニヨ

花田宗弘君 ネパール行ってきました。その帰りに岩倉病院に行ってきました。

田中秀夫君 ポール・ハリー・フェローいただきました。ありがとうございます。

高野山RC 亀岡 弘昭 様
今年も宜しくお願い致します



国際ロータリー ニュース

ウガンダの平和を担う新世代を育成

20年以上も内戦が続いたウガンダ北部では、30万人以上が殺害、家を追われた人は180万以上を数え、わずか7歳の児童を含む3万6,000人の少年兵が戦場へ送られました。2006年から休戦状態にあるものの、平和を維持していくには依然として多くの課題が残されています。

ロータリー財団は 11 月、同地域に住む 200 人の教師と 1,300 人の生徒が平和構築の研修を受けられるよう、ルバガ・ロータリー・クラブ（ウガンダ）とランバード・エアポート・ロータリークラブ（米国ミズーリ州）に 16,096 ドルのグローバル補助金を提供しました。これらのクラブは、紛争解決にあたる非政府組織「Great Lakes Center」（ウガンダ グル）と協力

してプロジェクトを進めたほか、音楽や演劇を通じて紛争予防／解決について学ぶ「平和クラブ」を地域の学校に設置しました。

この「Great Lakes Center」は、ロータリー平和フェローとしてクイーンズランド大学（オーストラリア）に留学したロバート・オピラさん

(2005-07 年度) とゴッドフレイ・ムカラジさん

(2004-06 年度) によって創設されました。センターは現在、1990 年代半ばの紛争によって 5 万人以上の命が失われた 5 つの国々（コンゴ民主共和国、ルワンダ、ウガンダを含む）で、紛争と安全の問題に取り組んでいます。同センターは、補助金プロジェクト終了後も研修と平和クラブの活動を続けていく予定です。参加した教師や生徒は、得られた知識やスキルを活用して、国と地域の末永い平和を守っていくことでしょう。

未来の夢計画の重点分野の一つ、「平和と紛争予防、紛争解決」に焦点を当てたこのプロジェクトは、ロータリーの第 1911 地区 (ハンガリー)、第 5890 地区 (米国テキサス州)、第 6060 地区 (米国ミズーリ州)、第 6200 地区 (米国ルイジアナ州)、第 9200 地区 (エリトリア、エチオピア、ケニア、タンザニア、ウガンダ) より寄せられた 14,597 ドルの DDF (地区財団活動資金) と、ルバガクラブの 3,000 ドルの資金提供によって実現しました。

ルバガクラブの会員は、研修カリキュラムの計画づくりを手助けしたほか、実際に研修に参加し、地方メディアを通じてプロジェクトを推進しました。今後は、持続可能性を図るため、プロジェクトの影響を調査していきます。また、ランパート・エアポートクラブは、活動の進展を確認しながら、メディアを利用したプロジェクト推進を担っています。

「ロータリー財団の協力団体として活動でき光栄です」と、「Great Lakes Center」の共同設立者で、グル・ロータリークラブ会員のオピラさんは話します。

「紛争と安全における課題はたくさんありますが、ロータリーファミリーと協力することで、地域のためにより良く奉仕することができるでしょう」

大地震から1年、 必死の復興活動が続くハイチ

2010年1月12日、30万人が命を落とし、国のインフラを完全に崩壊させた大地震がハイチを襲ってから1年。現在も、100万人以上がテント生活を送り、10月に大発生したコレラによって、復興活動が進まぬ状況が続いています。

そんな中で、ハイチのロータリアンは、全世界のロータリークラブから寄せられたリソースや資金で、学





校を建て直し、環境教育を行い、安全な水をもたらす活動を支援しています。世界中のロータリークラブから同国援助のために寄せられた資金は 1,800 万ドル以上に上り、また、第 7020 地区（ハイチを含む）も、緊急の救援活動のために 150 万ドルの資金と 1,100 万ドル相当の物資やサービスを調達しました。

被災地の復興支援のためにロータリー財団が設置したハイチ地震救済基金には、世界中のロータリアンから、200 万ドル以上の義援金が寄せられました。ハイチ基金委員会は、これまでに、53 のプロジェクトに約 100 万ドルを基金から配分することに同意しました。基金の管理者であるバリー・ラシン RI 元理事は、次のように語ります。「ハイチの全ロータリアンは、地震から地域を立ち直らせるために、懸命に活動しています。彼らの献身には、本当に頭が下がる思いです」

これまでに、約 50 カ国のロータリアンが救援活動に参加してきました。「ロータリーは、ハイチの被災地救援の主な担い手となっています」とラシン氏。「深刻な被害を受けた被災者を支援するさまざまなプログラムを、ロータリアンが率先して行っています。この国をもっと住みやすい場所にするために、世界のロータリアンとハイチのロータリアンが、手に手を取って活動していく必要があります」

ハイチで行われている活動を、以下にいくつかご紹介します。

第 7020 地区とケイ・ロータリー・クラブによる 5 万ドルのプロジェクトでは、最も貧しい地域、レケイにある小学校の 6 つの教室を建て直しました。この学校では 682 人の生徒たちが学んでいます。

カルフル／モンレポ・ロータリー・クラブによる 13,700 万ドルのプロジェクトでは、森林再生の大切さに関する教育を 1,300 人の生徒に行いました。ハイチでは、今回の地震によって森林の 98% が失われました。今後、生徒たちは、土砂災害の防止と農作物生産のため、果物の木の植樹を行う予定となっています。ミルバレ・ロータリ・クラブによる 64,000 ドルのプロジェクトでは、2,500 ガロンの容量がある雨水貯水タンクを建設し、灌漑、飲み水、発電などに利用します。ミルバレの住民の 95% は農業従事者であり、このタンクとフィルターによって、およそ 3 千人にきれいな水がもたらされることになります。

地震前からハイチで 30 以上の人道的・教育的活動を行っていたロータリーは、同国の復興を最も効果的に行える立場にあると、バハマのロータリアン、リチャード・マッコンベさんは言います。「ここハイチで実施する活動は、どのような活動であれ、持続可能な復興を支え、この国的能力を高めることになる」とマッ

コンベさん。例えば、ハイチ北部で実施されている義肢プロジェクトでは、軽量で低コストな義肢の作り方について、現地の技師への研修も行われています。ロータリー財団と英国のクラブが支援するこの 50 万ドルのプロジェクトでは、足を失った約 4 千人の被災者に義肢が提供されます。

2011-12 年度 RI テーマ 「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

国際協議会で次年度、の 2011-12 年度 RI テーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」とテーマロゴが発表されました。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011 年 RI 国際大会 5 月 21 日～25 日 米国 ニューオーリンズ



ニューオーリンズは、アメリカ合衆国ルイジアナ州南部に位置する州最大の都市です。メキシコ湾に通じる重要な港湾都市で、工業都市・観光都市としても発展した。フランス語名ラ・ヌーヴェル-オルレアンは、ルイ 15 世の摂政オルレアン公フィリップ 2 世にちなむ。かつてはフランス領ルイジアナの首府であり、市内のフレンチ・クオーターと呼ばれる地区には今なおフランス植民地時代の雰囲気を残しています。

そして、アメリカの異なる文化が混ざり合ったエキゾチックな街です。ディキシーランド・ジャズやクレオール料理の発祥地としても有名です。



ミシシッピ川のデルタ地帯に位置するこの町は良港にも恵まれ国際貿易も盛んです。



日本との時差は 15 時間で、サマータイム実施中は 14 時間、日本が進んでいることになります。